学校番号	102

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	第３学年	啓林館「Vision Quest Ace 」 桐原書店「Next Stage」 「Reading Flash2 」 数研出版 「DUAL SCOPE 総合英語」 「DUAL SCOPE 実戦ランダム編」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語表現Ⅱでは、１,２年で学び習得した英文法・英語を使って表現する力をさらに発展させ、英語で伝えたいことを表現し、相手の言う内容を自分の力で考えて意見を述べる力を養うことを中心に学んでいく科目です。外国語科の学習の技能としての「書くこと」「話すこと」「聞くこと」「読むこと」の４つの技能を、場面に応じて使いながら外国語を習得していきます。英語で行うプレンゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の組み立て方、それを行うために必要な表現や振舞い方などを学び身に着けていきます。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：コミュニケーション英語Ⅲ（３単位）・英語表現Ⅱ（２単位）英語読解（２単位）

選択科目：英語演習（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表することができる。 ・発表されたものを聞いて，質問したり意見を述べたりすることができる。 ・多様な考え方ができる話題について，立場を決めて意見を発表することができる。	コミュ英Ⅲ ・発表	・主題を決め，様々な種類の文章を書くことができる。 ・文章の構成を考えながら書くことができる。 ・図表との関連を考えながら書くことができる。 ・書いた内容を読み返して，推敲することができる。	英語表現Ⅱ・定期考査	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・リスニングテスト	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて，情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。	コミュ英Ⅲ ・定期考査 英語読解 ・定期考査

3　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「聞くこと」「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を実につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Part2 Lesson1 （２時間） 副教材 1,2章 （２時間）	パラグラフの構成：列挙・順序 時系列に基づいて受動態・助動詞を活用し英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・学習者にとって身近な題材を選び英語でまとまった文を書き、考えを伝えようとする。	・わかりやすい言葉で考えを伝えるための方法を知る。	・既習の英語の表現や文法を工夫して使い自己表現を行うことができる。	・指定された形式において英語で文章を書いたワークシートとその言語材料を観察し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語の文章の構成を知り、パラグラ・フライティングの技法を学ぶ。	・英文を書くときに、注意すべき時制・態・感情を表現するときに使える助動詞の活用法を学ぶ。	・既習の学習内容に加 えて、時系列・態などに工夫をして自己表現を行うことができる。	・ペアで各自の書いた 英文を読みあい内容が伝わっているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語で書かれているまとまとまった文章を読み、論理の流れを知る。	・英文構成を考えながら意味を理解し、論旨を追うことができる。	・パラグラフ構成に従ったつなぎの言葉に留意し、主題と結論とその流れがわかる。	・ワークシートおよび定期テストにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・まとまった内容の文章を英語で書くために、選ばれたトピックの文化的・言語的背景を知る。	・異なる文化背景の内容を英語で理解する。	・英語で文章を組み立 てる方法に慣れ、列 挙・順序を含む英文の構造を意識することができる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
Lesson２ （２時間） 副教材 3 章 （２時間）	パラグラフの構成： 例示・追加 時系列に基づき仮定法を活用し英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・身近なあるトピックに関して、例を挙げたり具体的な情報を付け加えたりして説明することができる。	・わかりやすい言葉で考えを伝えるための方法を知る。	・既習の英語の表現や 文法を工夫して使い自己表現を行うことができる。	・指定された形式にお いて英語で文章を書いたワークシートと、その言語材料を観察し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・例示・追加を表すつなぎの言葉を用いて、英語のパラグラフを書くことができる。	・パラグラフの構成を意識し、支持文の中に順序よく例を組み込み英文を書く。	・既習の学習内容に加 えて、時系列・態などに工夫をして自己表現を行うことができる。	・ペアで各自の書いた 英文を読みあい内容が伝わっているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・例示・追加の表現を含む英文をパラグラフの構造を意識して読むことができる。	・追加・例示のつなぎの言葉が適切に使用された英文内容を理解する。	・パラグラフ構成に従 ったつなぎの言葉に留意し、主題と結論との流れがわかる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・まとまった内容の文章を英語で書くために、選ばれたトピックの文化的・言語的背景を知る。	・異なる文化背景の内容を英語で理解する。	・英語で文章を組み立 てる方法になれ例示・追加を含む英文の構造を意識することができる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
Lesson３ （２時間） 副教材 4 章 （２時間）	パラグラフの構成： 比較・対照 不定詞･動名詞･分詞を意識し英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・身近なあるトピックに関して、例を挙げたり、具体的な情報を比較・対照を行い、説明することができる。	・わかりやすい言葉を使い英文を書き、自分の考えを相手に伝えることができる。	・既習の文法事項使い、工夫して文を書くことができる。	・指定された形式にお いて英語で文章を書いたワークシートと、その言語材料を観察し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・対比・類似を表すつなぎの言葉を使って２つの事柄を比較しながら英語のパラグラフを書くことができる。	・パラグラフの構成を意識し、導入文を用い、支持文の中に２つ以上のものを比較しその相違点・類似点を組み込み英文を書く。	・既習の学習内容に加 えて、比較表現・代名詞を適切に使用することなどに工夫をして自己表現を行うことができる。	・ペアで各自の書いた 英文を読みあい内容が伝わっているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			

		・２つの事柄が対比して書かれた英文をパラグラフの構造を意識して読むことができる。	・比較・対照のつなぎの言葉が適切に使用された英文内容を理解する。	・パラグラフ構成に従 ったつなぎの言葉に留意し、導入文を用いた流れがわかる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・まとまった内容の文章を英語で書くために、選ばれたトピックの文化的・言語的背景を知る。	・異なる文化背景の内容を英語で理解する。	・英語で文章を組み立 てる方法になれ、比 較・対象を含む英文の構造を意識することができる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。

Lesson４ （２時間） 副教材 ５章 （２時間）	パラグラフの構成： 原因･理由･結果 関係詞・接続詞の用法に基づき英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・物事の因果関係について述べるときに必要な言葉や観察力を養うことができる。	・わかりやすい言葉を使い英文を書き、自分の考えを相手に伝えることができる。	・既習の文法事項使い、工夫して文を書くことができる。	・指定された形式にお いて英語で文章を書いたワークシートと、その言語材料を観察し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・原因・理由および結果を表すつなぎの言葉を使って英語のパラグラフを書くことができる。	・パラグラフの構成を意識し、支持文の中に原因→結果の順で述べるための文の組み立てを考え英文を書く。	・既習の学習内容に加 えて、不定詞・分詞を適切に使用することなどに工夫をして自己表現を行うことができる。	・ペアで各自の書いた 英文を読みあい内容が伝わっているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・原因・理由および結果について書かれた英文をパラグラフの構造を意識して読むことができる。	・原因・理由のつなぎの言葉が適切に使用された英文内容を理解する。	・パラグラフ構成に従 いつなぎの言葉に留意し、文中の因果関係の流れがわかる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・まとまった内容の文章を英語で書くために、選ばれたトピックの文化的・言語的背景を知る。	・異なる文化背景の内容を英語で理解する。	・英語で文章を組み立 てる方法になれ、因果関係を含む英文の構造を意識することができる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
Lesson５ （２時間） 副教材 ６章 （２時間）	パラグラフの構成： 要点・要約 前置詞・比較の用法に基づき英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・英文中のキーワードに気づき、それを元に内容の理解を深める思考の道筋を見つけ、自己の考えをまとめることができる。	・わかりやすい言葉を使い英文を書き、自分の考えを相手に伝えることができる。	・既習の文法事項使い 工夫して文を書くことができる。	・指定された形式において英語で文章を書いたワークシートとその言語材料を観察し判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・文章の要点をつかみ、 つなぎの言葉なども使いながら、要約文を書くことができる。	・パラグラフの構成を意識し、キーワードをヒントに主題文を書き、それを元にパラグラフを組み立てる方法を学び英文を書く。	・既習の学習内容に加 えて、関係詞・接続詞を適切に使用することなどに工夫をして自己表現を行うことができる。	・ペアで各自の書いた 英文を読みあい内容が伝わっているかを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・パラグラフの構造を意識して文章の要点やキーワードを正しく読み取ることができる。	・パラグラフ構成を考え つなぎの言葉を使い簡潔に要約文を作ることができる。	・パラグラフ構成に従 ってつなぎの言葉に留意し、文全体の内容の流れがわかる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・まとまった内容の文章を英語で書くために選ばれたトピックの文化的・言語的背景を知る。	・異なる文化背景の内容を英語で理解する。	・英語で文章を組み立 てる方法になれ、英文全体の構造を意識することができる。	・ワークシートおよび 定期テストにおいて評価する。
Part3 Lesson1 （８時間） 副教材 7,8,9 章 （6 時間）	プレンゼンテーンション： ①ブレインストーミング/資料を探す ②アウトライン作成 ③プレゼンテーション原稿作成・表現 ④プレゼンテーションの準備・実施 ⑤プレゼンテーションの質疑応答・発表者の評価 主語との動詞の一致・疑問文とその語順･否定･倒置･省略･強調といった表現方法・話法といった表現方法や文法に基づき英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・原稿を元に聞き取りやすいように発音の仕方に気を配り発表できる。 ・発表の内容について疑問に思ったことを質問することができる。また、その質問に適切に答えることができる。	・プレゼンテーションの方法・意味を知り、効果的な表現方法を知る。 ・落ち着いて質問内容を聞き取り、発生の仕方に気を配って質疑応答を行うことができる。	・既知の表現方法・母語による知識を用い、自己の意見を他者に伝える工夫をする。 ・他者からの言語による働きかけを受け止め、理解し自己の言葉で考えを伝える。	・個人、または複数でプレゼンを行いその言語の使用場面を観察し評価シーとにより評価する
		「外国語表現の能力」			
		・特定のテーマに沿って、資料の情報など客観的な情報も含めながらプレゼンテーションを行うための原稿を書くことができる。	・特定のテーマに沿った資料を探し、その内容を整理しながら、原稿アウトラインを母語→英語へと変えながら組み立てることができる。	・主語と動詞を一致させ、強調・省略といった文法的な技法を用い、効果的な英文作成を行う。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・特定のテーマに沿った英文の資料を読み、関連する情報を集めることができる。	・さまざまな資料から、特定のテーマに沿ったものを取捨選択する。図表に関する表現、また巣票を提示する表現を学ぶ。	・特定のテーマに対し、理解を深め集めた情報を整理し原稿作成準備を行う。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・発表内容が効果的に伝わるようジェスチャーを交えて発表することができる。	・プレゼンテーションの原稿準備において、トピックの言語的・文化的背景を深く理解することができる。	・聴衆が理解できる内容、文構成、発表準備とその伝え方を工夫することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
Lesson2 （ ４時間） 副教材 10,11,12 章 （5 時間）	ディスカッション： ①ディスカッションの進め方 ②ディスカッションに役立つ表現/評価 動詞･名詞･代名詞･形容詞･副詞の語法に基づき英語表現を使い英文を書く	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・特定のテーマについてグループ内での意見を聞き、その内容を理解することができる。また、	・特定のテーマについて即興で話すことができ、また伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。	・お互いの意見について言及し、友好的な雰囲気で積極的に議論に参加することができる。	・個人、または複数でプレゼンを行いその言語の使用場面を観察し評価シートにより評価する
		「外国語表現の能力」			
		・特定のテーマについての自分の意見をメモ書きや発表原稿の形式に従って英語で書くことができる。	・既習の経験に基づき、情報や考えをまとめてさまざまな文章を書くことができる。	・特定のテーマについて述べられた意見を簡潔に要約することができる。	・個人、または複数でプレゼンを行いその言語の使用場面を観察し評価シートにより評価する
		「外国語理解の能力」			
		・特定のテーマに沿った英文の資料を読み、関連する情報を集めることができる。	・聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えをまとめることができる。	・特定のテーマに対する意見/主張に説得力のある根拠を付け加えることができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・特定のテーマについてディスカッションで複数の人の意見を調整する立場としての司会者の役割を知り、議論を進めることができる。	・多様な考え方や意見について、立場を決めて意見をまとめることができる。	・特定のテーマについて複数の人と意見を交換するときのルールを守って論点を明らかにすることができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
Lesson3 (8 時間)	ディベート ①ディベートの進め方 ②ディベートの準備 ③ディベートを行ううえでの注意点/判定/表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・特定のテーマについてのディベートで相手の発言を理解することができる。 ・自分のグループの意見をまとめて述べ、ディベートの勝敗の判断をすることができる。	・ディベートを行うときのルールと役割を知り、特定のテーマについて論戦を行うための思考・態度を養う。	・即興で考えを組み立て、表情・表現を豊かに自己の主張をすることができる。	・個人、または複数でプレゼンを行いその言語の使用場面を観察し評価シートによって評価する。
副教材 13, 14, 15 章 (8 時間)	イディオム・会話表現・語彙・重要多義語に基づき英文を書き、自由な発言を行う	「外国語表現の能力」			
		・特定のテーマについて賛成・反対いずれの立場でも、自分の意見を英語で書くことができ、述べることができる。	・特定のテーマについて既習のパラグラフ構成や論理の流れを活用し、賛成・反対の意見を組み立てることができる。	・組み立てた意見、それに対する反論が説得力のある英文で書くことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・特定のテーマに沿った英文の資料を読み、関連する情報を集め、相手の主張に対する反論をかんがえることができる。	・議論を組み立てるために必要な情報を集め、その情報源となる出典を明らかにし予想される反論を考えることができる。	・情報内容から必要なものを取り出し、自己の意見の中に取り込むことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストおよびワークシートにおいて評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ディベートのルールやメンバーの役割などを知り、論戦を行う知的ゲームとして扱われていることを知る。	・日本の言語文化とは異なる論戦ゲームであることを理解し、相手を説得させることができる。	・自己の信念や考えに捉われず広い視野で他者の意見を受け止めることができる。	・個人、または複数でプレゼンを行いその言語の使用場面を観察し評価シートにより評価する。